



天津日中大学院
環境管理学科専任講師

大野 昇司 さん

1972年生まれ。京都大学大学院にてエネルギー学科修士号を取得。98年に中国へ。北京大学都市環境系で修士課程を終了後、2000年環境保護サークル「ベブネット」をスタートさせる。現在天津日中大学院で教壇に立つ。



こんにちは！

ベブネットです！

BEVNETの活動も開始から3年目に入った。今回は立ち上げメンバーのひとりである大野木昇司さんに、ベブネットの役割や特色について紹介していただいた。

ベブネットの役割

私は99年から「日中環境協力」をテーマに、北京大学環境学院大学院に留学しておりました。そして02年夏に2人の有志と共にベブネットを結成しました。今回はベブネットの役割・特色に関して簡単に述べたいと思います。

第1に、媒介的存在としての役割です。やはり日本人は中国をあまり知らないと思います。日本の新聞やテレビだけでは中国の日常の生活や世民の姿はわかりません。そういう中で中国理解や交流には限界があります。双方の理解を促進し、効果的でスムーズな交流、運営を可能にする日中のワンストップとなる現地の日本人の存在が必要なのです。

第2に現地情報をキャッチできることです。北京では環境関連のイベントは多いのですが、情報発信が少ないこと、言葉の問題などから日本人に届くことはまれです。私は情報を入手でき、日本語に訳して情報発信できるという強みを持っています。

第3に中国に対する環境情報提供です。中国には、中国語で読める日本の環境関連サイトや図書が非常に少ないのです。中国語で中国の状況に合った形の情報提供は、中国に大変有益です。中国で一般の市民に日本を宣伝する効果も期待できます。

第4に日本の団体間で連携を強化する役割です。日本から植林や緑化活動等の環境保護活動に参入している団体は非常に多いのですが、横のネットワークが弱いのです。この分野を強化する「NGOをサポートするNGO」が必要で、

第5に価値観の多様性です。全く別の価値観・文化背景の人が入ることによって、新しい発想やチャンスが生まれます。環境保護という共通の目標を持って活動するならば、言葉や価値観の違いはさほど障害にはなりません。

第6に活動の組織化です。個人の能力や人的ネットワークには限りがありますが、組織的な活動によりそれらをうまく活用でき、効果よい運営が可能になります。

以上をまとめると、やはり中心となるのは日中環境保護の架け橋としての役割です。今



天津日中大学院内の天津科技大学

後も、その社会的使命と役割を十分に認識し、責任感を持って日中環境協力の道を邁進していきたいと考えます。

天津日中大学院

02年9月より、日本の日中教育促進機構と天津科技大学との合作で、天津日中大学院が設置され、私はその環境管理学科の専任講師を務めています。この大学院は、経営管理学科と環境管理学科からなる3年間の修士課程で、日中の学生が共に学び共に活動し、次世代の日中の架け橋となる人材を育成することを目指しています。

サイトを立ち上げ

今後の更なる発展のため、私の近況や活動報告を流すサイト「日中環境戦略研究家のサイト」とメールマガジン「日中環境戦略研究家レポート」を始めました。日中の環境問題解決に向けた更なる貢献をしていきたいと考えております。



天津日中大学院の日中合同交歓会の様子

北京環境ボランティアネットワーク
(略称BEV-NET=ベブネット)
kankyouinbeijing@hotmail.com

詳しくは・・・
HP: <http://www.bevnet.tripod.co.jp/>
ML: <http://www.freeml.com/cgi-bin/ml/infoForm/pekinorvirc/>